

※官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）に関する調査業務報告

R1.6.24

1. 目的および概要説明・・・内閣府の PRISM 説明資料より

- ・資料 1：仮設・復興住宅の早期整備による応急対応促進 事業体制（案）
- ・資料 2：①-5 災害廃棄物等を用いたリサイクルコンクリートの実用化技術の開発
- ・資料 3：災害廃棄物等を活用したリサイクル骨材及びそれらを使用したコンクリートの基本性能に関する調査試験業務

2. 平成 30 年度のスケジュール（実績）

2-1. ACRAC 受託業務抜粋

- ・ H30 年 5 月より建築研究所棚野シニアディレクターとの打ち合わせ開始。（ACRAC 事務所等）
- ・ ACRAC と建築研究所で実験内容について協議を行い（8～9 月）、業務仕様書が作成（10 月）。
- ・ 公告（11 月）→応札→契約→業務開始（12 月初旬）→文献調査・実態調査へ
- ・ 岡山県倉敷市の災害がれき一次仮置き場の視察（H30.12/11）（コンクリート系廃棄物の分別等）
- ・ 調査結果を基に不純物混入量の実測調査へ。実験用模擬不純物の種別および混入率を決定。
- ・ 実験に用いる模擬不純物の作製（1 月）
- ・ 災害がれき廃棄物を原料想定した実験用再生骨材（L 相当品）の製造（1 月）
- ・ 模擬リサイクル骨材を用いたコンクリート実験実施（1～2 月）  
（不純物混入率毎の骨材試験、配合決定、フレッシュ性状確認、圧縮強度、静弾性係数等）
- ・ これらの調査試験結果を業務報告書としてまとめ、提出。（3/15）

2-2. 検討委員会の実施・・・委員として柴谷会長、増尾支部長が参加

- ・ 11/5 PRISM 第 1 回委員会開催  
：初回（プロジェクトの概要説明と課題の確認、今年度のスケジュールについて）
- ・ 1/23 PRISM 第 2 回委員会開催  
：中間報告（災害復興現場の視察および文献調査の報告と模擬不純物混入量の決定）
- ・ 3/8 PRISM 第 3 回委員会開催  
：中間報告（リサイクル骨材と模擬不純物の作製、骨材試験～コンクリート試験まで）

3. 平成 30 年度の委託調査業務報告書概要

下記の項目で業務報告書をまとめた。

- ・ 文献調査・・・既往 9 編より、コンクリート系災害がれきの構成、収集、分別、処理方法および再利用状況、自治体における復旧復興への計画・取り組みについて文献調査を実施。
- ・ 現地調査・・・倉敷市の災害がれき一次仮置き場の視察と現場管理者へのヒアリング実施。  
実際の災害がれきの収集、保管、再利用への仕組みと事業生産との相違を確認。
- ・ リサイクル骨材に含む不純物構成と量の実測調査から模擬不純物混入量の決定および作製
- ・ 模擬リサイクル骨材の基本物性試験

- ・ 模擬リサイクル骨材を用いたコンクリートの基本性状確認
- ・ 試験結果考察と今後の課題まとめ

4. 2019 年日本建築学会大会学術講演会への技術論文投稿

- ・ 9 月初旬の日本建築学会北陸大会へ、下記題目の 3 編を投稿（ACRAC 名義）。
  - ① 災害廃棄物等を活用したリサイクル骨材の製造方法とその基本物性の検討  
（その 1）既存技術情報調査 発表者：増尾孝義
  - ② 災害廃棄物等を活用したリサイクル骨材の製造方法とその基本物性の検討  
（その 2）リサイクル骨材の基本的物性 発表者：柴谷啓一
  - ③ 災害廃棄物等を活用したリサイクル骨材の製造方法とその基本物性の検討  
（その 3）リサイクル骨材を用いたコンクリートの基本物性 発表者：細野知之

5. 2019 年以降の予定

- ・ 5 か年計画の 2 年目・・・詳細未定